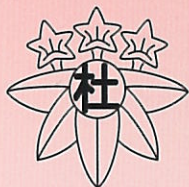


◎ 豊葉の杜学園の成り立ち

平成23年4月、荏原第三中学校と荏原第四中学校が統合し、豊葉の杜学園開校に先駆けて、豊葉の杜中学校が開校しました。そして、平成25年4月、杜松小学校と大間窪小学校と豊葉の杜中学校が統合し、施設一体型小中一貫校 **豊葉の杜学園**が誕生しました。

杜松小学校



杜松小学校は、江戸時代の終わりごろ、蛇窪村に開かれた私塾「伊藤塾」からはじまり、明治12年に開校しました。「伊藤塾」の開設者である伊藤清一郎先生の俳号・杜松斎景湖よりいただき、校名を「としょう」としました。

校庭には大イチョウ、ビオトープがあり、児童は心豊かに伸びやかに学習し、異学年の友達とも仲良かかわりながら育ってきました。

H25.4

大間窪小学校



大間窪小学校は、昭和3年12月1日に開校しました。数々の歴史と伝統を受け継いで84年。10940名の卒業生を送り出してきました。保護者・地域の皆様の熱い期待と信頼を真摯に受け止め、全ての教職員の創造性、自発性、英知を結集して、たくましく生きていく力を身に付けさせてきました。

H25.4

豊葉の杜学園

H23.4

H23.4

荏原第三中学校



荏原第三中学校は、昭和22年4月、戦災復興の激動の中、地域の皆様の夢と希望を担い、開校しました。

様々な伝統があります。その1つが屋上での修学旅行の見送りです。また、二葉すこやか園の園児と生徒が交流をするスカイクラブの活動、生徒の手で創り上げる体育祭など、受け継がれている豊かな伝統がありました。

荏原第四中学校



荏原第四中学校は、戦後間もない昭和22年4月、新しい学校制度によって開校しました。延山小学校を仮校舎として開校、その後中延小学校に移転し、開校後4年経ってから現在の地に校舎が完成しました。地域柄、親子そろって卒業生というご家庭も珍しくなく、生徒は幾世代もの地域の人々の温かい目に見守られて育ってきました。